

ご利用案内

せいふつたようせい せいふつたようせい
生物多様性センターでは、生物多様性に
かん じょうほう ほっしん
関する情報を発信しています。



ギンヤンマ

ビオトープ池

さまざまな水辺の生きものを
観察できます。



メダカ

常設展示エリア

淡水魚などの生きものや
パネルを展示しています。



大きい水そうが
あるよ!

イタセンバラ



ヒメガマ

水辺の植物園

絶滅が心配される水生
植物を観察できます。



ニホン
イシガメ



コイ

研修室

生物多様性に関する研修を
実施しています。(要申込)

企画展示エリア

生物多様性に関する企画展を
実施しています。

企画展示のご利用状況は
こちらで確認できます。



コイの池・カメの池

コイのえさやり体験が
できます。(なくなり次第終了)

生物季節観測エリア

開花日などを毎年記録し、温暖化の
影響を調べています。



駐車場・駐輪場

障がい者用駐車場

トイレ

多目的トイレ

自由に
見学できます!

開館時間

平日午前9時30分から午後5時
(12月から3月は午後4時まで)
土日祝・年末年始(12/29~1/3)は休館

アクセス

〒572-0088
大阪府寝屋川市木屋元町10-4
TEL: 072-833-2770
FAX: 072-831-0229



- 京阪本線「香里園」駅から西へ約1.5km(約20分)
- 国道1号線 寝屋川市「木屋西」交差点を西に入る
- 京阪本線「香里園」駅から
ねやBUS 木屋ルートに乗車(約10分)
「木屋元町」停留所下車、西へ約200m

ほか しょうほう
その他、くわしい情報はこちら↓

大阪 生物多様性センター

URL <https://www.knsk-osaka.jp/biodiv/>

公式 @knsk_biodiv

ホームページでは

大阪に生息する

生きものの図鑑も公開しているよ!



2025年3月作成



地方独立行政法人
大阪府立 環境農林水産総合研究所
生物多様性センター



おおさか環農水研

生物多様性

センター

ご紹介

生物多様性を
学ぼう!

おおさか環農水研
生物多様性センター



せいぶつ たようせい
生物多様性センター
しごと
お仕事とは?

ゆた しいぜん すべ いっしょ しゃかい しいぜん い
豊かな自然や全てのいのちと一緒にくらす社会をつくり、自然や生きもの
めぐ ろう と つづ せいぶつ たようせい おおさか せいぶつ たようせい
恵みを受け取り続けるために、生物多様性センターでは大阪の生物多様性を
ほぜん さまざま ちょうさ けんきゅう かつどう とりく
保全するための様々な調査・研究や活動に取り組んでいます。



てんねんきねんぶつ
天然記念物
イタセンパラ

い せいぶつ ちょうさ まも
生きものを調査して守る!
しいぜん い ちようさ
自然や生きものくらしを調査して、
す ばしょ まも かず すく い
住む場所を守っています。数の少ない生
きものが生息地の外でも生きていける
ように、けんきゅう
研究を
おこな
行っています。

がいらい せいぶつ しら
外来生物について調べる!
がいらいせいぶつ ばしょ
外来生物がどんな場所に、どれくらい
いるのか、またどんなえいきょう あた
影響を与えて
いるかを調べたり、被害をふせぐための
しら ひがい
方法をかんが
考えて
います。



とくていがいらいせいぶつ
特定外来生物
クビアカツヤ
カミキリ

い せいぶつ ちょうさ
生きものつながりを調査!
さまざま い せいいたいけい かん
様々な生きものや生態系に関する
ちょうさ けんきゅう おこな
調査・研究を行っています。



しんりん ぼうさい
森林の防災
けんさいたいさく
減災対策

さいがい つよ もり
災害に強い森
づくりのけんきゅう
研究、
かい どく
アサリなどの貝に毒をもたらす
ちようさ さかな びょうき
プランクトンの調査、魚がかかる病気の
けんさ
検査などを行っています。
ふみん あんしんあんぜん まも
府民の安心安全を守る!

きょうざい さくせい
教材の作成、
たいけん がくしゅう
体験学習、
けんしゅうかい とお しいぜん まも
研修会などを通して、自然を守るために
ひつよう ちしき ぎじゆつ
必要な知識や技術をたくさんの人に
ひろ
広めていく活動をしています。
ちしき ひろ
知識を広める!



サポート
こうしゅう
スタッフ講習

せいぶつ たようせい
生物多様性とは?

こせい い かんきよう
いろいろな個性をもつたくさんの生きものが、ほかの生きものや環境と
あ そんざい せいぶつ たようせい まも
つながり合いながら、存在することです。生物多様性が守られてこそ、
ゆた せいかつ おく
わたしたちは豊かな生活を送ることができるのです。

